

本学は、高等教育機関としての責任を果たし、社会の付託に応えるため、不断に自己点検・評価活動を推進し、大学全体の諸活動の向上に努めています。

## I 自己点検・評価の指標

本学の自己点検・評価は、『相愛大学将来構想』を基に実施しています。

2018年2月15日に策定した『相愛大学第2次将来構想』は、本学がめざす中期的な将来像を明示し、その実現をめざして推進すべき改革改善計画を提示したものであり、大学の諸活動である教育・学生支援、研究、地域連携・社会貢献、国際化、管理・運営・財務、学生募集・広報、内部質保証の各事項に関する課題と目標を設定しています。また、各事項ごとに、さらに具体的な実施項目と実施目標を設定し、その実現をめざしています。このことから、自己点検・評価の指標は、この各事項及び各項目のPDCAサイクルにおける進捗状況とし、内部質保証システムの効果的な運用を図るものとしします。

## II 自己点検・評価の実施方策

自己点検・評価の具体的実施については、学園の『事業計画書』『事業報告書』と連動させて実施することとしています。具体には、以下のような手順で行います。

まず、年度当初に公表する『事業計画書』において、実施担当部署が各事項・各項目の年度事業計画を明らかにし、年度後半期に計画の進捗状況を点検するとともに、その結果を次年度事業計画および予算案に反映させます。

次年度当初には、前年度事業計画実施結果について、総括的な点検・評価を実施し、次年度事業計画の効果的な推進に資することにしします。

## III 自己点検・評価の実施体制

自己点検・評価活動は、学長を委員長とする「相愛大学自己点検・評価委員会」が統括し、実際の点検・評価作業は、この委員会の下に設置する「自己点検・評価実施委員会」（委員長は、評価担当副学長）が実施します。なお、自己点検・評価活動を所管する事務組織は、学長室です。

## IV 自己点検・評価の活用

自己点検・評価の結果は、ポータルサイトおよび大学のホームページ上で公表します。

自己点検・評価の結果、一層の改革改善が不可欠となった事項・項目については、執行部会議、大学評議会等において、改善方策を検討し、大学として、必要な施策を実施します。